

令和 8 年度 病虫害発生予察注意報第 1 号

令和 8 年 5 月 1 日
静岡県病虫害防除所長

病虫害名：赤かび病

対象作物：麦類

1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：4 月～5 月
- (3) 発 生 程 度：多
- (4) 防 除 時 期：5 月上旬～5 月中旬

2 注意報発表の根拠

- (1) 4 月中旬の巡回調査では、発病穂率が 1.3%（平年 1.0%）であった。過去、この時期に発病を確認した年は、5 月に発病が拡大する傾向にある。
- (2) 本病原菌は、夜間の気温と湿度が高いと胞子が飛散する。本年は、生育も早く、感受性の高い開花期に降雨が多かったため感染が拡大した。
- (3) 4 月 23 日に名古屋地方気象台が発表した東海地方の 1 か月気象予報では、降水量がほぼ平年並で、気温は平年より高いため、感染・発病に好適な条件が今後も続く可能性がある。

3 防除方法

- (1) 本病は、開花期から乳熟期にかけて感染するため、開花を始めた時期から開花盛期が薬剤による防除適期であるが、本年は多発が予想されるため、5 月に追加防除を行う。なお、散布に当たっては、収穫前日数に注意するとともに、薬剤耐性菌の発生を未然に防ぐため、作用機構の異なる剤をローテーション散布する。
- (2) 次作へ向けた対策として、ほ場周辺から稲の刈り株、稲わら及びイネ科雑草を除去したり、土壌中にすき込んで腐敗させ、病原菌を死滅させる。
- (3) 不明な点は、病虫害防除所、農林事務所、農協等に問い合わせる。



図 小麦赤かび病の被害の様子

表 小麦赤かび病に対する主な防除薬剤

商品名	使用方法	希釈倍数使用量	使用時期	使用回数	FRAC コード ¹⁾
イオウフロアブル ²⁾	散布	400～800倍	-	-	M2
石灰硫黄合剤 ²⁾	散布	50～60倍、100倍	-	-	
サルファーゾル ²⁾	散布	400倍	発病前～発病初期	-	
チルト乳剤 2.5	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	3回以内	3
ワークアップフロアブル	散布	2000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	
シルバキュアフロアブル	散布	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	
トリフミン水和剤	散布	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	11
ストロビーフロアブル	散布	2000～3000倍	収穫14日前まで	3回以内	
トップジンM水和剤	散布	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内 (但し、出穂期以降は2回以内)	1
ミラビスフロアブル	散布	1500～2000倍	収穫7日前まで	2回以内	7

1) 薬剤を作用機構ごとに分類した番号。薬剤耐性菌の発生を未然に防ぐためには、作用機構の異なる剤をローテーションで使用する必要がある。

2) 有効成分が硫黄の剤は予防散布が中心であるため、既に発生が確認されている場合は他剤を使用する。

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

